

いにしえの仏像から工芸へ  
松久真や・松久佳遊展

截金師 松久真や  
佛師 松久佳遊



撮影：大道雪代

価格はすべて税込です。


当デジタルカタログにて展覧会会期前にご予約を承ります。

お問い合わせ 03-3241-3311 大代表 美術工芸担当まで。

発行／株式会社 三越伊勢丹 © 2021 ISETAN MITSUKOSHI



**MITSUKOSHI**  
日本橋本店  
[www.mitsukoshi.co.jp](http://www.mitsukoshi.co.jp)



いにしへの仏像から工芸へ  
松久真や・松久佳遊展

2021年4月14日(水)～4月19日(月) [最終日午後5時終了]

日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊

ごあいさつ

大仏師・松久朋琳の孫、大仏師・松久宗琳の長女・次女として京都に生まれた松久真や氏と佳遊氏。135年続く仏師の家でそれぞれの才能を開花させ、現代の感覚に沿う美しさを極めた作品を制作し続ける姉妹の、日本橋三越本店では初めての展覧会を開催いたします。

髪の毛程の細さに裁断した純金箔を一切下描きを行わずに複雑な曲面に配し、繊細で煌びやかな幾何学模様や唐草文様を施す「截金」技法を巧みに用いる真や氏。仏画で培った造形感覚を生かし、仏像を制作する仏師としても活躍する佳遊氏。双方の確かな技術が織りなす選りすぐりの逸品を一堂に展覧いたします。ぜひこの機会にご高覧賜りますようご案内申し上げます。

日本橋三越本店

## ごあいさつ

このたびの展覧会は「<sup>きりかね</sup>截金」をメインテーマとしてその魅力と技に焦点を当て、真やの截金と佳遊の彫刻作品が織りなす逸品を一堂に展覧いたしております。

純金箔を使い、一切下描きを行えない複雑な曲面に、髪の毛程の細さに裁断した金箔で幾何学模様や唐草文様を施す難しい技術は、高価であった仏像の衣などの最高の装飾仕上げとして荘厳されてまいりました。

真やによる截金は、長年仏像によって養われた技の熟練と、高い芸術性によって独特の世界を創造してまいりました。

箱や挽物だけでなく、佳遊の優美高妙な彫刻を組み合わせる新たな形を創造する事や、截金による文字で新たな世界を開くなど、截金の可能性をご覧いただければと存じます。

截金師 松久真や

佛師 松久佳遊



1. 香合 浄土六鳥 共命鳥  
幅 5 × 奥行 9 × 高 3cm 220,000 円
2. 香合 蓮花びら  
幅 5 × 奥行 9 × 高 3cm 253,000 円
3. 香合 蓮玉  
幅 6.5 × 奥行 7 × 高 3cm 297,000 円
4. 合子 天の舞蓮弁変わり  
幅 6.5 × 奥行 11 × 高 3.5cm 385,000 円
5. 香合 蓮玉  
幅 6.5 × 奥行 7 × 高 3cm 297,000 円
6. 香合 浄土六鳥 鸚鵡  
幅 5 × 奥行 7 × 高 3cm 220,000 円



7.

截金文字福百態  
縦 53.3 × 横 78cm  
1,870,000 円



8.

戌香合  
(下から：うるみ・朱・黒漆)  
各 径 6.5 × 高 9.5cm  
各 418,000 円



9.

宝相華三段重ね香箱

幅 33 × 奥行 13.5 × 高 18cm (収納時)

4,950,000 円



10. 誕生仏 (神代檜) 総高 22cm 715,000 円



11. 薬師如来（櫃）  
総高 43cm 8,800,000 円



12.  
いの目香合三方香箱 径 15 × 高 7.5cm  
2,200,000 円



13.  
正倉院花形香炉  
幅 24.2 × 奥行 12 × 高 5.5cm  
935,000 円



14.  
富貴蓮紋花受  
幅 18 × 奥行 18 × 高 23cm  
935,000 円



15.  
飛天 妙音  
幅 13.5 × 奥行 11 × 高 35cm  
1,980,000 円

デジタルカタログ掲載作品

No.	作品名	サイズ
1.	香合 浄土六鳥 共命鳥	幅 5 × 奥行 9 × 高 3cm
2.	香合 蓮花びら	幅 5 × 奥行 9 × 高 3cm
3.	香合 蓮玉	幅 6.5 × 奥行 7 × 高 3cm
4.	合子 天の舞蓮弁変わり	幅 6.5 × 奥行 11 × 高 3.5cm
5.	香合 蓮玉	幅 6.5 × 奥行 7 × 高 3cm
6.	香合 浄土六鳥 鸚鵡	幅 5 × 奥行 7 × 高 3cm
7.	截金文字福百態	縦 53.3 × 横 78cm
8.	戌香合 (うるみ・朱・黒漆)	各 径 6.5 × 高 9.5cm
9.	宝相華三段重ね香箱	幅 33 × 奥行 13.5 × 高 18cm
10.	誕生仏 (神代檜)	総高 22cm
11.	薬師如来 (榿)	総高 43cm
12.	いの目香合三方香箱	径 15 × 高 7.5cm
13.	正倉院花形香炉	幅 24.2 × 奥行 12 × 高 5.5cm
14.	富貴蓮紋花受	幅 18 × 奥行 18 × 高 23cm
15.	飛天 妙音	幅 13.5 × 奥行 11 × 高 35cm



## 松久真や・佳遊 略歴

大仏師松久朋琳の孫、大仏師松久宗琳の長女、次女として京都に生まれる。  
70年続く仏師の家でたくさんの弟子に囲まれて育つ。

長女である真やは、さまざまな分野のデザインを学んだ後、1973年（昭和48年）より宗琳の元で本格的にたくさんの仏像の彩色と截金を担当する。  
とりわけ截金において、技法を公開しない閉鎖的な体質に危機感を持ち、1977年（昭和52年）初の著書『截金の技法』（日貿出版）を宗琳と共に著し、広くその技法を公開した。  
時代に則した技法を考案しながら、限定的な文様のみでの截金から独自にデザインし彩色を織り混ぜた新しい現代の截金を創作、松宗院截金とする。

京都 鹿苑寺金閣・岩屋観音像 四天王像 足利義満像  
京都 鞍馬寺・宝殿 魔王像 千手観音像 毘沙門天像 毘沙門天像 聖観音像  
京都 大覚寺・五大明王像  
大阪 四天王寺講堂・丈六阿彌陀如来像 金堂・四天王像  
太子奥殿・聖徳太子四十九才像  
滋賀 比叡山延暦寺総持院東塔・五智如来像  
和歌山 高野山金剛峯寺東塔・五智如来像  
千葉 新勝寺平和塔・五大明王像 五智如来像 釈迦堂・千手観音像  
弥勒菩薩像 普賢菩薩像 文殊菩薩像等  
朋琳、宗琳による数々の寺院や個人の仏像に截金、彩色を施す。

次女の佳遊は、美術の高校から大学にて日本画を学んだ後、1980年に宗琳の元で仏画の仕事に勤しむかたわら岸派・上田家聖氏に師事、伝統的な運筆や日本画の技法を学び仏画の中に豊かな表現と美を取り入れる事で仏画の新境地を開く。  
1991年に銀座にて初の個展を開く。  
1992年同じく銀座にて姉妹展開催時に宗琳が亡くなる。  
姉妹で工房を引き継ぎ、京都仏像彫刻研究所から「大仏師 松久宗琳仏所」と改名する。  
工房の仏師と共に新たな時代へ踏み出すと共に、佳遊は仏像彫刻の道へも進み、仏画で培った造形感覚を生かした仏像を制作する仏師としても活躍の場を得る。  
宗琳没後、大仏師松久宗琳仏所の代表を勤める。

東京 正法寺・一三仏像 七福神像  
佐賀 獅子王山妙法寺・吉祥弁財天龍王像 吉祥弁財天龍王図  
奈良 金峯山寺・不動明王三尊像  
静岡 宝泰寺・釈迦如来三尊像 観音菩薩像 勢至菩薩像  
宮城 慈眼寺・不動明王三尊像 蔵王権現像 大日如来像 不動明王像  
埼玉 東光寺・聖観音像 極楽鳥図背屏他 成田芳骸禅師像  
納骨堂・釈迦涅槃像 涅槃寂静図 他  
和歌山 高野山一乗院・十一面観音（宗琳作）光華観音（宗琳作）  
堂内宝相華極彩色欄間 花丸天井絵 宝相華蝶蓮図 他  
大阪 通天閣・ビリケン像 七福神像  
東京 雲光院・二十五菩薩像 仏伝図レリーフ  
東京 安養院・薬師三尊像 聖徳太子十六才孝養図 樹下観音図  
東京 浄閑寺・二十五菩薩像 来迎図 他  
香川 子安観音寺・愛染明王像 文殊菩薩像 子安観音像  
東京 大正大学さざえ堂・聖観音像  
東京 国立博物館・伎楽面迦楼羅 伎楽面呉女  
愛知 密峰寺・大日如来  
滋賀 比叡山延暦寺 広野像  
北海道 大道寺 釈迦涅槃像 千手観音像 六具足  
香川 四国水族館 龍宮の景回廊壁画担当  
和歌山 高野山金剛峯寺・一面四臂大元帥明王図 大元帥曼荼羅図  
大阪 四天王寺・聖徳太子十六才孝養像  
等、たくさんの仏像、仏画の制作を続けている。

### 【主な書籍】

1991年（平成3年）姉妹著「仏を描く 截金を施す」（秀作社）  
2003年（平成15年）真や著「截金 金箔芸術の美と技法」（淡交社）  
2006年（平成18年）佳遊著「仏画の描法」（光村推古書院）  
2011年（平成23年）佳遊著「興福寺 阿修羅を描く」（青志社）  
2011年（平成23年）佳遊著「阿彌陀如来を彫る」（淡交社）  
2012年（平成24年）佳遊著「地藏菩薩を彫る」「毘沙門天を彫る」（淡交社）  
2013年（平成25年）佳遊著「愛染明王を彫る」  
2016年（平成28年）週刊「仏教新発見」（朝日新聞出版）巻末付録の写仏を担当  
のちに「人気仏画 なぞり塗り」として再度発刊される  
2018年（平成30年）佳遊著「不動明王を彫る」「阿彌陀如来立像を彫る」